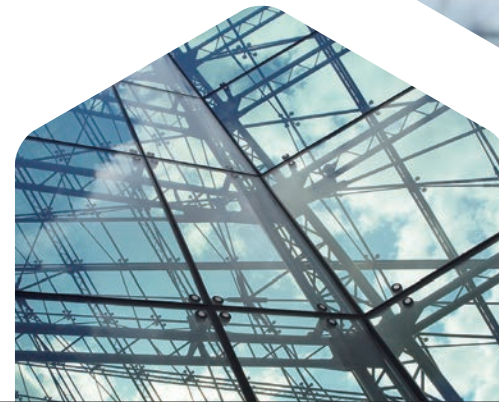




ITOGUMI SDGs REPORT 2025



伊藤組土建株式会社



Top Message



代表取締役社長 大谷 正則

人・まち・環境が調和する未来へ

私たちは創業以来、「責任観念」「誠心誠意」を社是として、北海道の発展とともに歩んでまいりました。130年にわたり受け継がれてきたこの精神は、社会からの信頼の基盤であり、持続可能な社会の実現が求められる今日においても、私たちのあらゆる事業活動の原点となっています。

建設業は人々の暮らしを支える社会基盤を整備するとともに、地域の未来を形づくる重要な役割を担っています。その責任を果たすため、私たちは安全で高品質なものづくりを追求しながら、人材育成や技術の継承、多様な人材が活躍できる職場環境づくりを進めています。社員一人ひとりの成長こそが、企業の持続的な発展と社会への価値提供につながると考えているからです。

また、脱炭素社会の実現や資源循環への対応など、環境に対する責任はますます重要になっています。当社では環境技術の開発・活用や環境保全活動を通じて、事業活動と環境負荷低減の両立を図っています。さらに、防災やまちづくり、文化・教育活動への支援など、地域社会とのつながりを大切にしながら、北海道の未来を支える新たな価値の創出にも力を注いでいます。

これらを着実に積み重ねながら、私たちは信頼と誠実なものづくりを礎に、人・まち・環境が調和する未来の実現に挑戦し続けます。そして、50年後、100年後も北海道とともに発展し、社会から必要とされる企業であり続けることを目指してまいります。

SDGsの取り組みと成果目標

報告対象期間:2025年4月1日~2026年3月31日

視点	重要課題 (マテリアリティ)	個別課題	主要活動	KPI主要活動目標【中期2030】	SDGs
環境 (Environment)	環境を守り、育む	廃棄物の低減とリサイクル	リサイクル商品の活用・食品ロス、廃棄物ロス	産業廃棄物分別 100%	       
			ペーパーレス会議の実施	作業服及び作業ヘルメットのリサイクル率 100%	
		自然共生社会の実現	環境影響の低減・環境技術の向上	ペーパーレス会議の実施 100%	
			環境影響の低減・環境技術の向上	ハイブリッドおよび低燃費型重機の使用 50%	
		脱炭素社会の実現	気候・生物・資源に配慮した社会への貢献	下水熱の普及 1件/年	
			森林植樹	陸上養殖 100t/年	
社会 (Social)	D&I文化が根付いた職場を目指す	人材育成・多様な人材採用	ダイバーシティ経営(イノベーション、人材の多様化)	障がい者雇用の促進 雇用率3.6%の確保	     
			多様な人材の確保	女性技術職かつ外国人雇用 5%	
			女性労働者及び管理職	女性管理職比率 10%以上	
			資格保有者数	技術士 6% 25人、1級建築士 12% 52人	
		労働安全衛生の推進	安全推進活動	1級建設業経理士 2.3%10人	
			ワークライフバランスの推進	労働災害低減 災害件数0	
			労働時間格差の解消、健康経営の推進	残業時間45時間未満 育児休業100%取得	
			健康職場の実施	有給休暇取得率 80%	
	建設業を通して社会に貢献する	品質の確保と技術の向上	技術の継承と技術力の向上	BMI 25以上の比率を25%以下に	    
			技術の継承と技術力の向上	CPDS取得 技術者100% 土木20U/年 建築12U	
		コミュニティの参画	地域社会への貢献、災害復旧への貢献	社内教育の実施 2回/年(現業部1回、会社1回)	
			インターンシップ	地域貢献活動10件/年 災害協定件数 13件/年	
			水素自動車を活用した防災活動	要請受入れ 100%	
			現場見学会の実施	防災イベント展示(PR) 3件/年	
企業統治 (Governance)	信頼される組織	組織機能の強化	内部統制の強化	現場見学会 5件/年	     
			コーポレートガバナンスの社内周知	内部監査の強化(統治、財務すべて) 1回/年	
			ステークホルダーダイアログの実施	講習会実施 1回/年	
		コンプライアンスの推進・強化	コンプライアンス委員会の実施	協力会社との情報交換 16回/年(建築14、土木2)	
			内部監査の実施	コンプライアンス委員会定期開催 2回/年	
			健全な職場環境の維持(教育研修と啓発活動)	内部監査の実施 1回/年	
		情報セキュリティの強化	セキュリティ強化とプライバシー保護	ハラスメント研修 1回/年 アンケート実施 1回/年	
			セキュリティ強化とプライバシー保護	企業情報及び個人情報の厳格な管理	
		リスク管理の強化	BCP管理の遂行	社員教育(Eラーニング) 2回/年	
			チェックリスト運用	安否確認 4回/年 回答率100%	
				運用見直し(ブラッシュアップ含む) 1回/年	



環境を守り、育む。

伊藤組土建では地球環境保護を責務として、再生可能エネルギー技術の開発・実践、植樹活動など、建設業の枠を超えて、持続可能な社会のためにさまざまな取り組みを行っています。



TOPICS

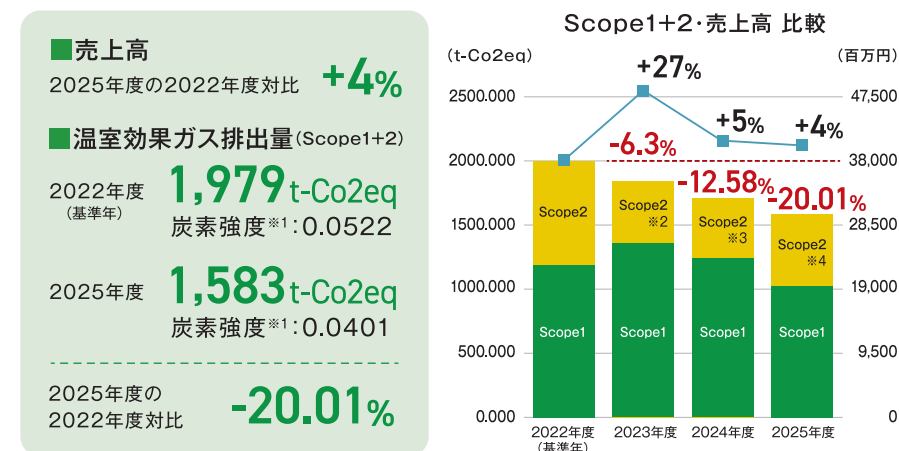
北海道初、次世代バイオ燃料 「リニューアブルディーゼル」を試行導入

2025年度、2件の土木工事において、次世代バイオ燃料「リニューアブルディーゼル(RD)」の試行導入を実施しました。RDは廃食油等を原料とし、従来の軽油に比べGHG排出量を最大90%削減※します。石油由来の軽油と分子構造が同じため、車両の改造なしで100%置き換えが可能です。既存設備を活かしつつ脱炭素化を推進する画期的な取り組みとして、持続可能な社会の実現に大きく貢献することが期待されます。



※ GHG削減率は、各国の法規制や原料比率により変動します。

2025年度温室効果ガス排出量実績



※1 炭素強度: 売上高(百万円)当たりCO₂排出量 ※2 再エネ由来J-クレジット(1,031,424kWh分)でオフセット

※3 トラッキング属性付きFIT非化石証書(1,121,496kWh分)でオフセット ※4 トラッキング属性付きFIT非化石証書(798,480kWh分)でオフセット

D&I文化が根付いた職場を目指す。

伊藤組土建では女性・高齢者・障がい者・若者・外国人就労者の採用と活躍の機会を提供するとともに、誰もがいきいきと働ける職場環境の実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。



TOPICS

難関試験を突破！ 次なる目標は主任

土木部に所属するベトナム出身のファム・フー・チェンが、難関資格の1級土木施工管理技士を取得しました。上司や先輩の支援を受けながら努力を重ね、外国人として北海道で2人目となる快挙を達成。今後は、まず主任になることを目標に業務への理解をさらに深め、実務を通じて知識と技能を磨いていきたいと抱負を語りました。



社長自ら実践 健康づくりを支える職場へ



「社員に勧める以上、まずは自分が受けなければ」。そんな思いから、ライザップの特定保健指導を受診した大谷社長。チョコザップでの運動やアプリを活用した食事管理などに取り組み、自身の健康を見直すきっかけになったそうです。「自分の健康に関心を持つ人が増えれば、会社にも必ず良い影響がある」と話し、社員が健康のための取り組みをしやすいよう、積極的に環境を整えていく考えを示しました。



建設業を通して社会に貢献する。

伊藤組土建では、総合建設業者として安心で快適な北海道のまちづくりを担うとともに、地域と連携してさまざまな活動に取り組んでいます。笑顔があふれる豊かな北海道。それが私たちの目標です。



※ CPDSとは？

技術者の知識や技能の向上のため、(一社)全国土木施工管理技士会が実施する継続学習制度です。

技術の継承と向上

2030目標値

技術者のCPDSの取得※100%

2030目標値

社内教育の実施 2回/年

土木 **75.3%** 建築 **99.2%** **2**回

2030目標値

100%

インターンシップ
要請受け入れ

100%

2030目標値

10件/年

地域貢献活動

37件

2030目標値

13件/年

災害協定件数

21件

2030目標値

5件/年

現場見学会

24件

2030目標値

3件/年

水素自動車の発電機利用を実演

防災イベントで
水素自動車を
展示PR

1回



TOPICS

誰もが幸せを感じながら暮らせるまちを目指して

建設事業者の得意分野で地域に貢献。地域のコミュニティとつながりを深めることで、より良い未来のために、私たちに何ができるのかを考える機会にもなりました。



環境美化活動



河川美化活動



交通安全街頭啓発



排雪支援活動



職業体験を通じて 建設業への理解を深める

南車両基地工場棟改築ほか工事作業所で、札幌市内の中学2年生4名を対象とした職業体験を実施しました。この取り組みは、実際の仕事を体験することで勤

労の尊さや喜びを学び、自らの生き方や進路について考える力を育むことを目的としたものです。生徒たちは建設業やゼネコンの役割について学んだ後、作業服とフルハーネスを着用して現場を見学し、測量作業にも挑戦。仕事の一端に触れながら、建設業への理解を深めました。

信頼される組織づくり。

私たちは、創業以来、責任観念と誠心誠意を旨とし、公共的使命を自覚遂行してきました。今後も地域社会、パートナー企業、社員からの信頼に応え、未来に向かって共に歩んでゆけるよう、さらにクリアでコントロールのとれた、リスク耐性の強い組織の構築を目指します。



TOPICS

協力会社とともに築く 持続可能な建設業

協力会社の求人支援を目的に、当社HP内に「協力会社紹介ページ」を開設しました。協力会社と約10か月かけて共同制作し、専門工事業の仕事内容や求人情報を発信することで、人材確保や認知拡大に貢献しています。こうした協力会社との連携は、建設業の持続的な発展に寄与するとともに、地域社会を支える企業としての責任を果たすことにもつながると考えています。



「札幌未来共創サミット」に出展

新規事業として取り組むヒメマスの陸上養殖を紹介し、自然環境に配慮した閉鎖循環式養殖システムによる持続可能な未来への挑戦を発信しました。建設DXとして推進するMR(複合現実)もご体感いただき、技術革新による生産性向上や、建設業の枠を超えた新たな価値創出と環境配慮の両立を目指す姿勢に、多くの関心と期待が寄せられました。

次世代へ伝えるSDGsの取り組み

江別市立大麻中学校2年生6名が、当社のSDGsの取り組みについてヒアリングするため来社してくれました。当社のSDGs目標や具体的な活動を紹介したほか、「地球温暖化は止められるのか」といった質問に対し、一人ひとりができる行動を積み重ねることの大切さを伝え、持続可能な社会の実現について理解を深めていただきました。





走りだそうサステナブル^{あす}な未来へ
ito Sustainability2050

伊藤組土建株式会社

〒060-8554 札幌市中央区北4条西4丁目1番地

伊藤組土建

検索

<https://www.itogumi.co.jp/>